

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部

第 4 2 回 本 部 会 議

日時：令和3年3月26日（金） 15：30～

場所：本庁3階テレビ会議室等

1 開 会

2 議 事

(1) 札幌市を対象とした感染拡大防止に向けた施策について

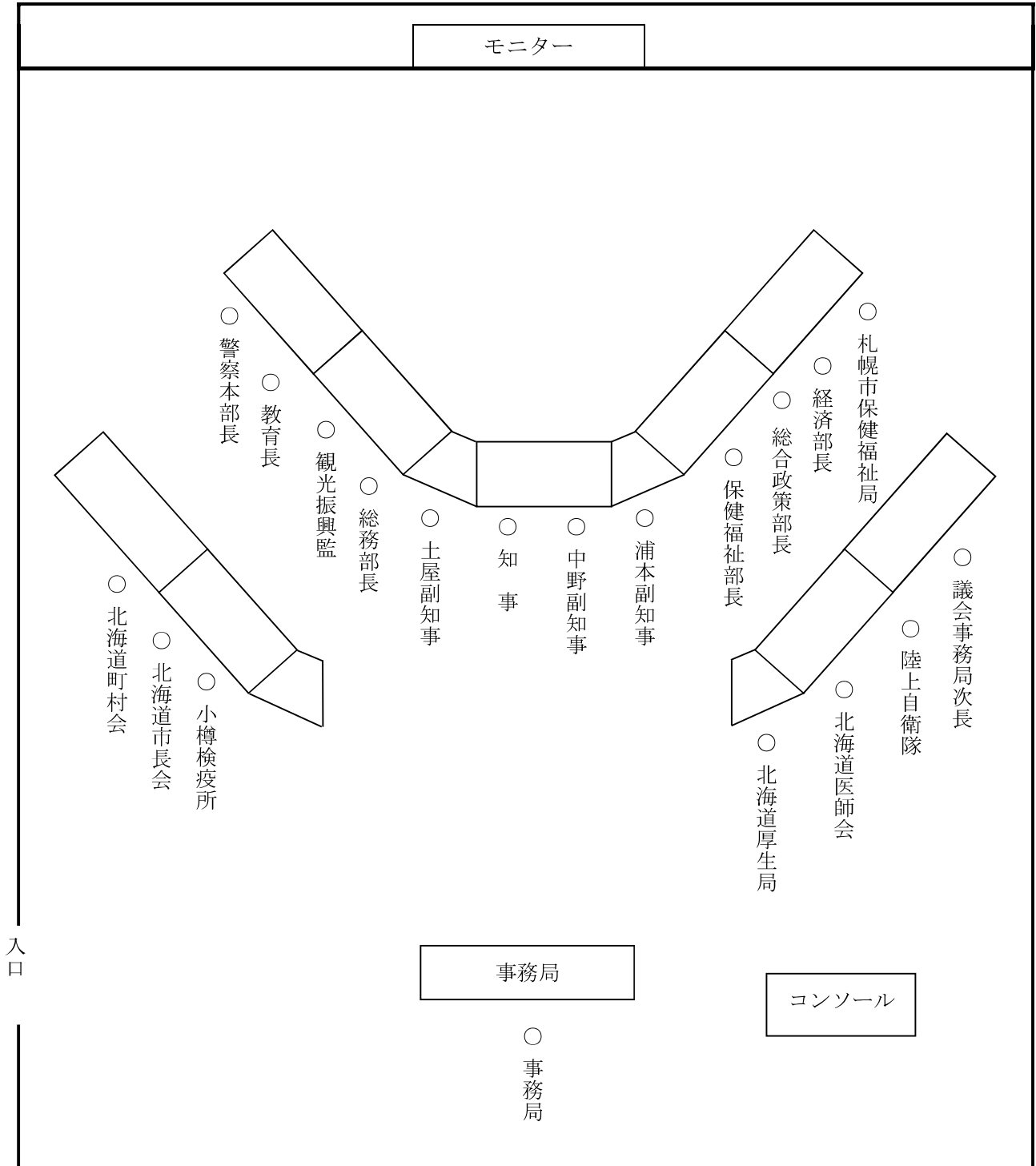
(2) 「新しい旅のスタイル」モデル事業について

3 閉 会

- | | |
|-----|--|
| 資料1 | 道内の感染状況等について（案） |
| 資料2 | 新型コロナウイルス変異株への対応状況 |
| 資料3 | 札幌市の感染状況について |
| 資料4 | 札幌市を対象とした感染拡大防止に向けた施策について（案） |
| 資料5 | 「札幌市を対象とした感染拡大防止に向けた施策について（道案）」
等に対する主な意見 |
| 資料6 | 年度末・年度始めの普及啓発 |
| 資料7 | 「新しい旅のスタイル」モデル事業について |
| 資料8 | 「新しい旅のスタイル」に対する主な意見 |

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 配席図

〔本庁3階テレビ会議室〕
令和3年(2021年)3月26日(金)



第42回 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議出席者名簿

日時: 令和3年3月26日(金)
場所: 本庁3階 テレビ会議室

(本部員)

所 属	職 名	氏 名
北海道(本部長) (副本部長) (副本部長) (副本部長)	知 事	鈴木直道
	副 知 事	浦本元人
	副 知 事	土屋俊亮
	副 知 事	中野祐介
総務部	部 長	平野正明
	職 員 監	松浦英則
総合政策部	危 機 対 策 局 長	野崎直人
	部 長	倉本博史
	知 事 室 長	濱坂真一
	地 域 振 興 監	佐々木徹之
環境生活部	交 通 政 策 局 長	菅原裕之
	次 長	小出幸希
	東 京 オ リ ン ピ ッ ク 連 携 推 進 監	阪正寛
保健福祉部(総合調整員)	ア イ ヌ 政 策 推 進 局 長	松谷雅一
	部 長	三瓶徹博
経済部	子 ど も 未 来 推 進 局 長	鈴木一和
	次 長	渡邊宏隆
	観 光 振 興 監	大内寛次
農政部	食 関 連 産 業 室 長	新津健彦
	次 長	中島和彦
水産林務部	食 の 安 全 推 進 局 長	瀬川辰徳
	次 長	辻井宏文
建設部	建 設 部 長	小林敏光
	建 築 企 画 監	長浜弘毅
出納局	次 長	大佐正誠
企業局	北 海 道 公 営 企 業 管 理 者	佐々木誠也
道立病院局	道 立 病 院 部 長	粟井晃臣
議会事務局	局 長	近藤晃司
北海道教育委員会	教 育 部 長	小玉俊宏
北海道警察本部	本 部 長	小島裕史

(地方本部)

所 属	職 名	氏 名
空知総合振興局	副 局 長	土屋節子
石狩振興局	局 長	佐藤則幸
後志総合振興局	局 長	北藤啓一
胆振総合振興局	副 局 長	須田英一
日高振興局	局 長	北村英則
渡島総合振興局	局 長	鳴海拓史
檜山振興局	副 局 長	宮澤宏
上川総合振興局	副 局 長	田辺きよみ
留萌振興局	副 局 長	沖野洋
宗谷総合振興局	副 局 長	岩田伸正
オホーツク総合振興局	局 長	橋本智史
十勝総合振興局	局 長	水戸部裕
釧路総合振興局	副 局 長	河内能宏
根室振興局	保 健 環 境 部 長	信行浩敬
東京事務所	副 所 長	金澤克人

(オブザーバー)

所 属	職 名	氏 名
厚生労働省北海道厚生局	健 康 福 祉 部 医 事 課 長	民谷健太郎
陸上自衛隊北部方面總監部	防 衛 課 長	田村秀樹
小樽検疫所	次 長	伊高浩和
札幌市保健福祉局 保健所	感 染 症 担 当 部 長	山口亮
一般社団法人北海道医師会	事 務 局 次 長	柴田秀和
北海道市長会	次 長	那須秀昭
北海道町村会	政 務 部 長	熊谷裕志

道内の感染状況等について (案)

【令和3年3月 日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (3/25)	375床 ↑	9床 ↑	700人 ↑	2.8% ↓	429人/週 (8.1人) ↓	0.96 ↓	35.9% ↑
うち札幌市内	203床	8床	436人	3.7%	288人/週 (14.7人)	1.22	38.5%
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

最近の感染状況等について

【感染状況】

道内の新規感染者数は、3月25日現在で10万人当たり8.1人/週と、3月7日の集中対策期間終了以降、概ね横ばいで推移している。

札幌市においては、感染の増加傾向が続き、3月24日には10万人当たり15.7人/週となり、道の警戒ステージ4相当の水準に至った。また、感染者の行動履歴では、特定の場所や施設ではなく、知人との交流といった個人活動、会社、学校など様々な場面での感染が確認されている。こうした中、特に札幌市内では変異株による感染の確認も続いており、更には、集団感染も続発している。

【医療提供体制】

入院患者数は、3月7日の集中対策期間の終了以降は、350床前後と概ね横ばいで推移しているが、重症患者数については減少していたものの、足下では増加。

札幌市内の入院患者数や重症患者数等も3月7日以降、増加傾向が続いており、医療提供体制への負荷が増加している。

【今後の対策】

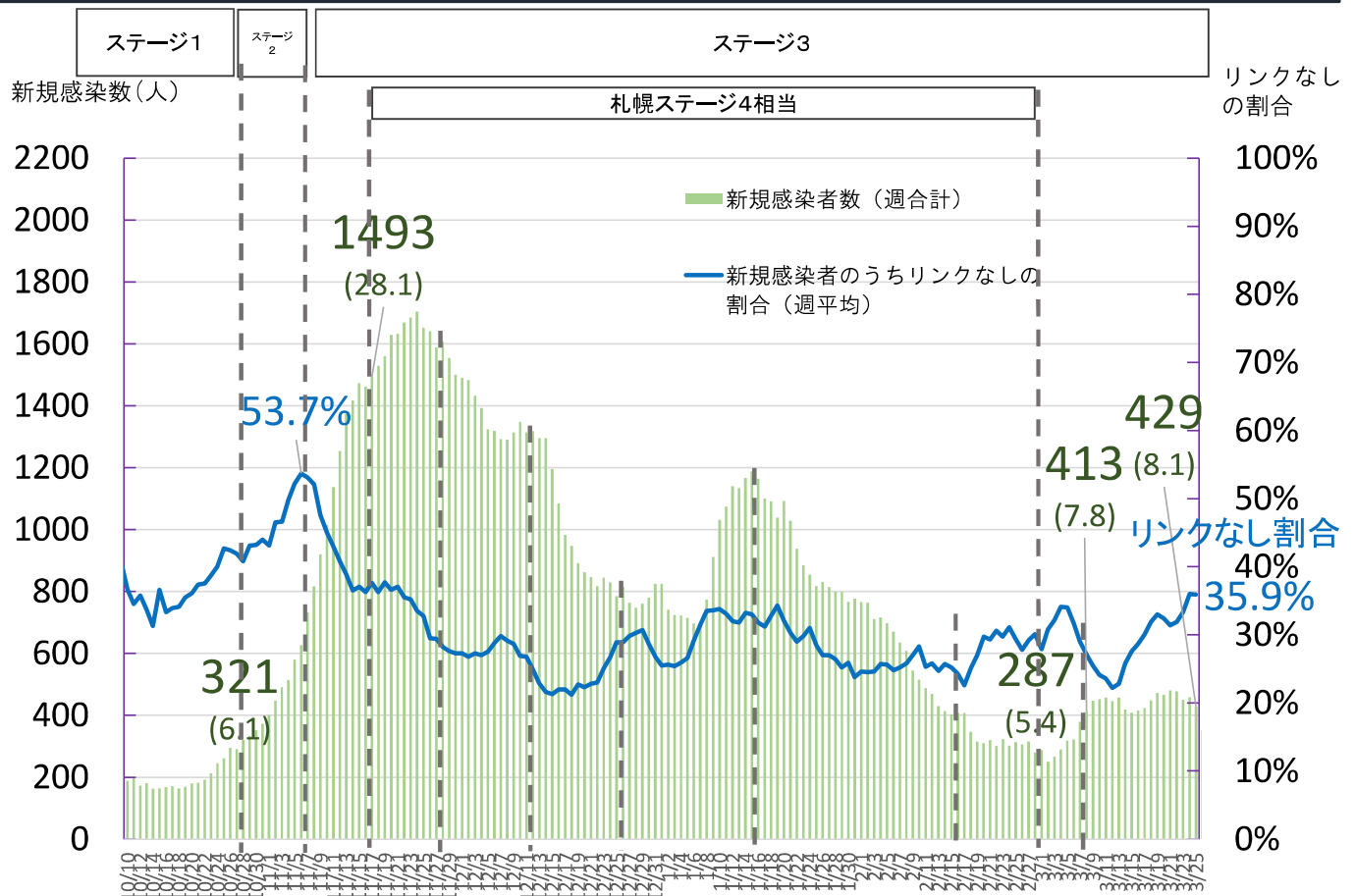
感染しやすい、重症化しやすい可能性があると考えられる変異株の感染確認が続く中、更に警戒感を高め、感染状況を注視するとともに、基本的な感染防止策の引き続きの徹底を周知する必要がある。

また、人の移動や会食機会の増加などといった感染リスクが高まる時期に備えながら、安心してワクチン接種を受けられる環境づくりを進めることが重要であり、引き続き、全道域において、飲食の場面などにおける感染防止に向けた行動の定着を図るとともに、感染再拡大の予兆の探知と迅速な対応など、感染の再拡大防止に向けた対策を実施する。

札幌市は全道の人口の3分の1を占め、都市機能が集積するなど、人の往来が活発な地域であり、他地域へ波及する可能性が高い都市構造。3月上旬より感染拡大が継続し、様々な場面での感染が確認される中で、変異株による感染の確認が続いている。また、入院患者等の増加傾向が継続し、医療提供体制への負荷も増加している。昨年11月上旬の感染拡大期には、札幌市内での感染拡大から10日間程度遅れて、全道で拡大した経過を踏まえて、これ以上の札幌市内での感染拡大を防ぎ、全道の感染拡大につながらないよう、札幌市を対象とした強い措置を講じる。

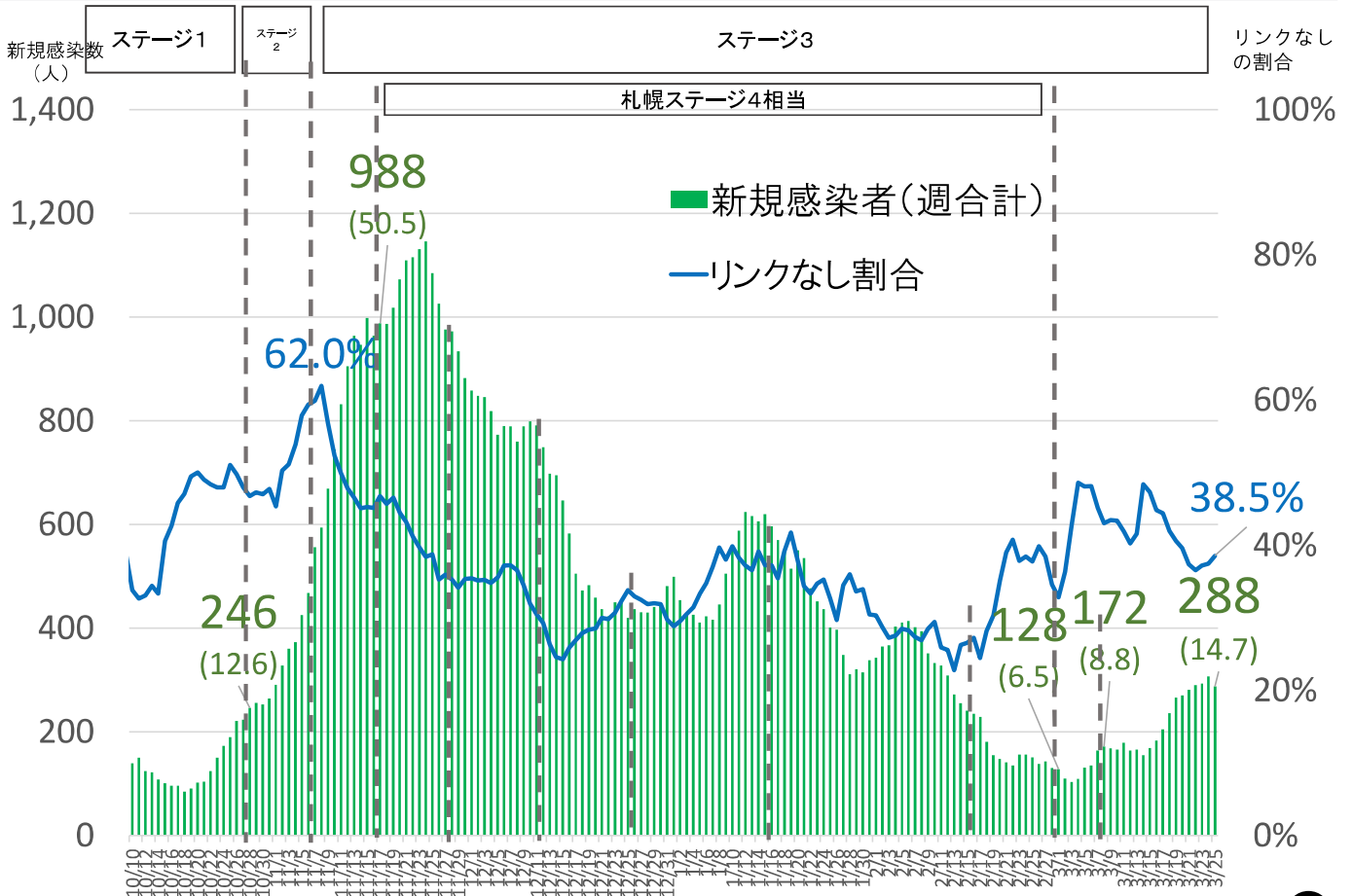
2

感染状況

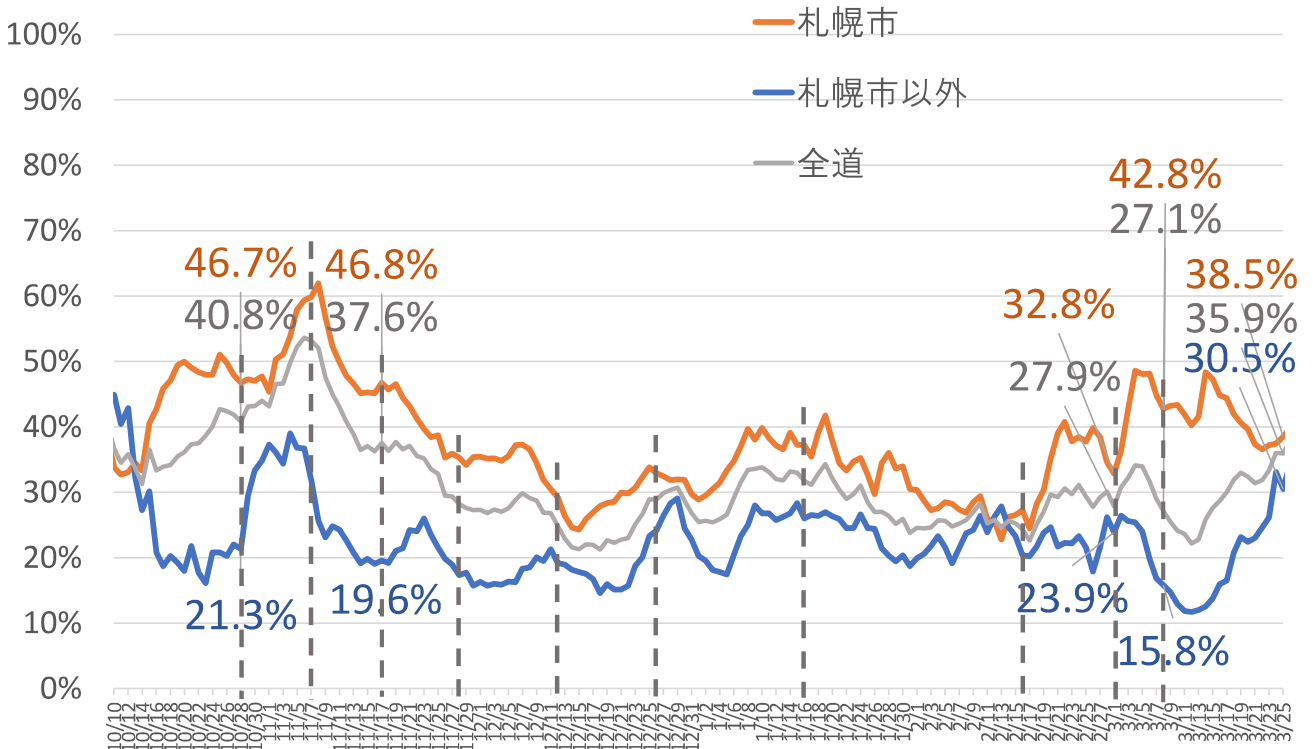


3

札幌市の感染状況

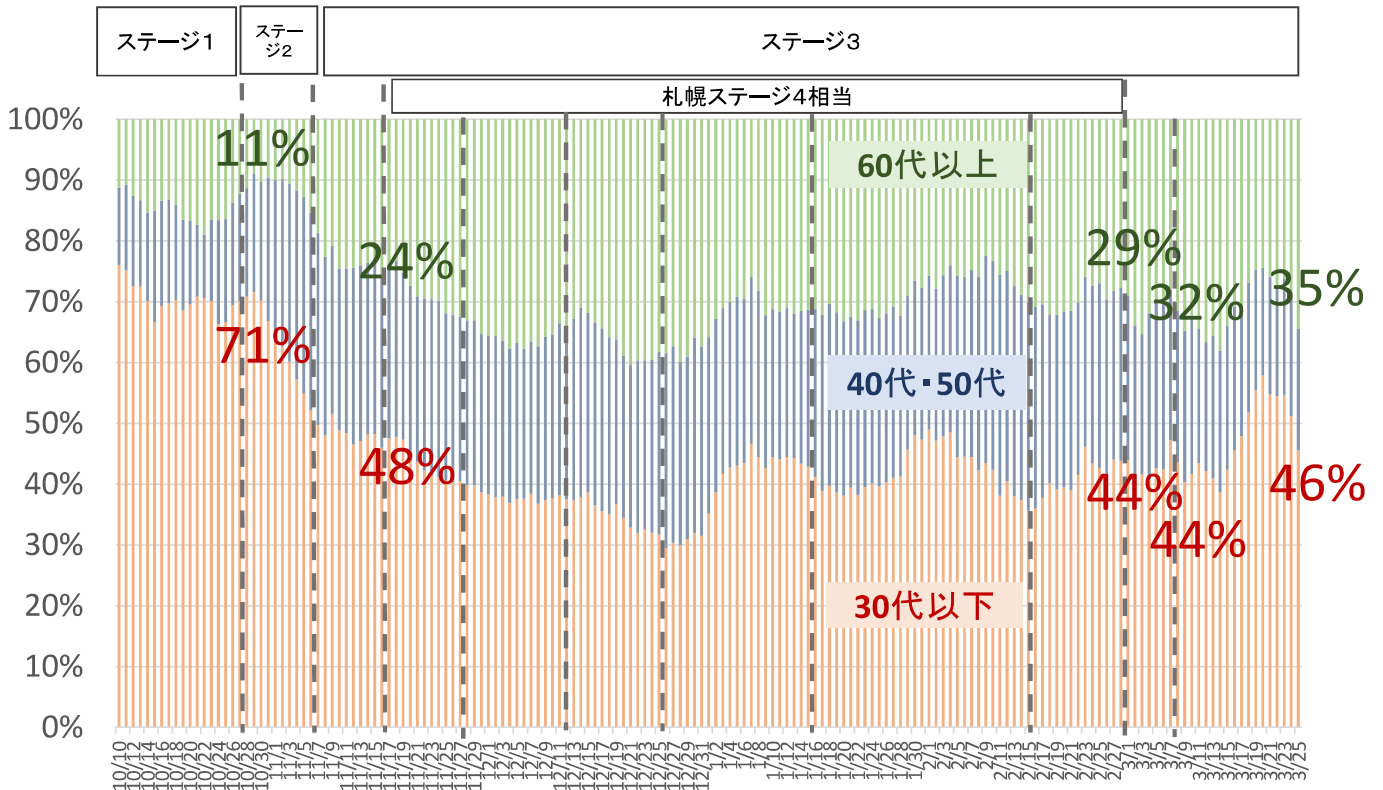


地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)



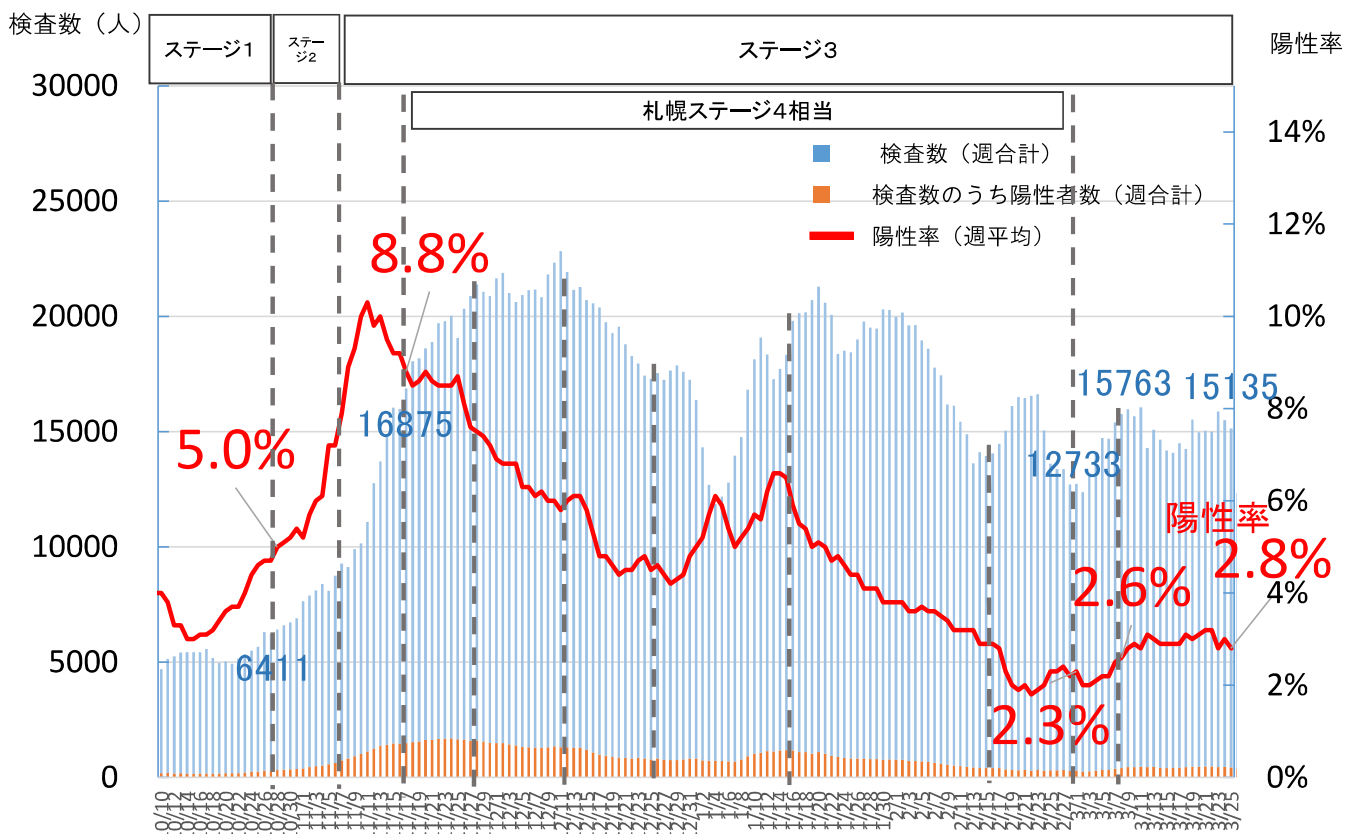
(7日間移動平均)

新規感染者の年代別割合

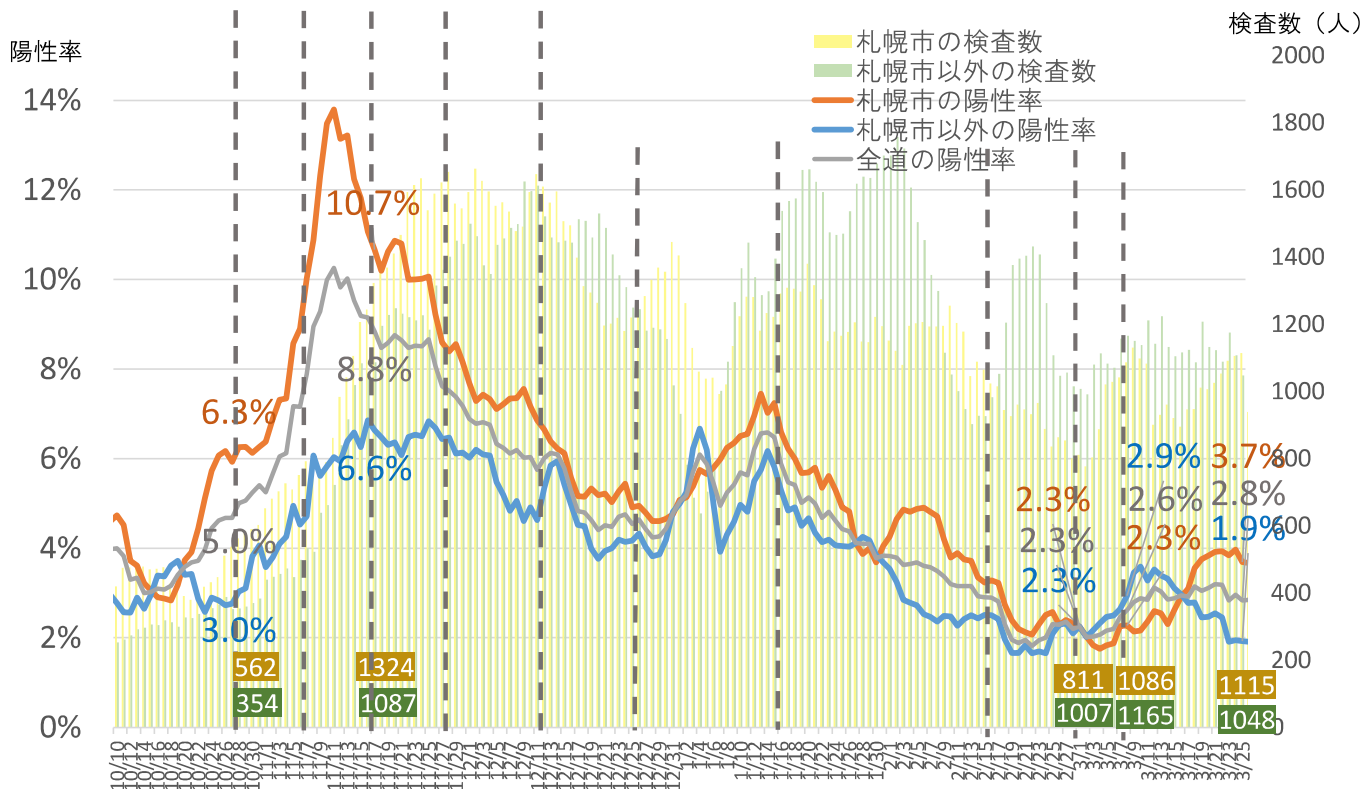


(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)

監視体制(陽性率と検査数)



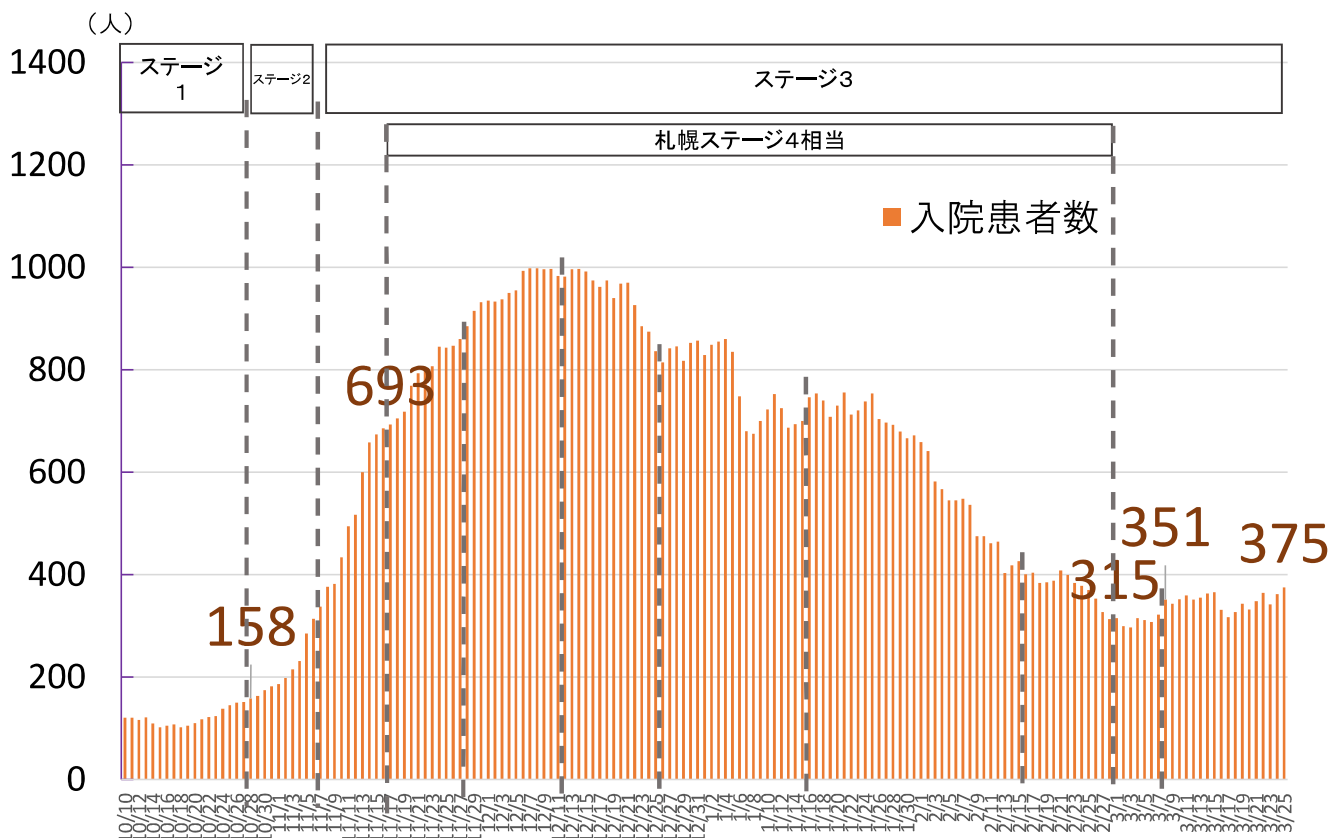
地域別検査数・陽性率(札幌市／札幌市以外)



(7日間移動平均)

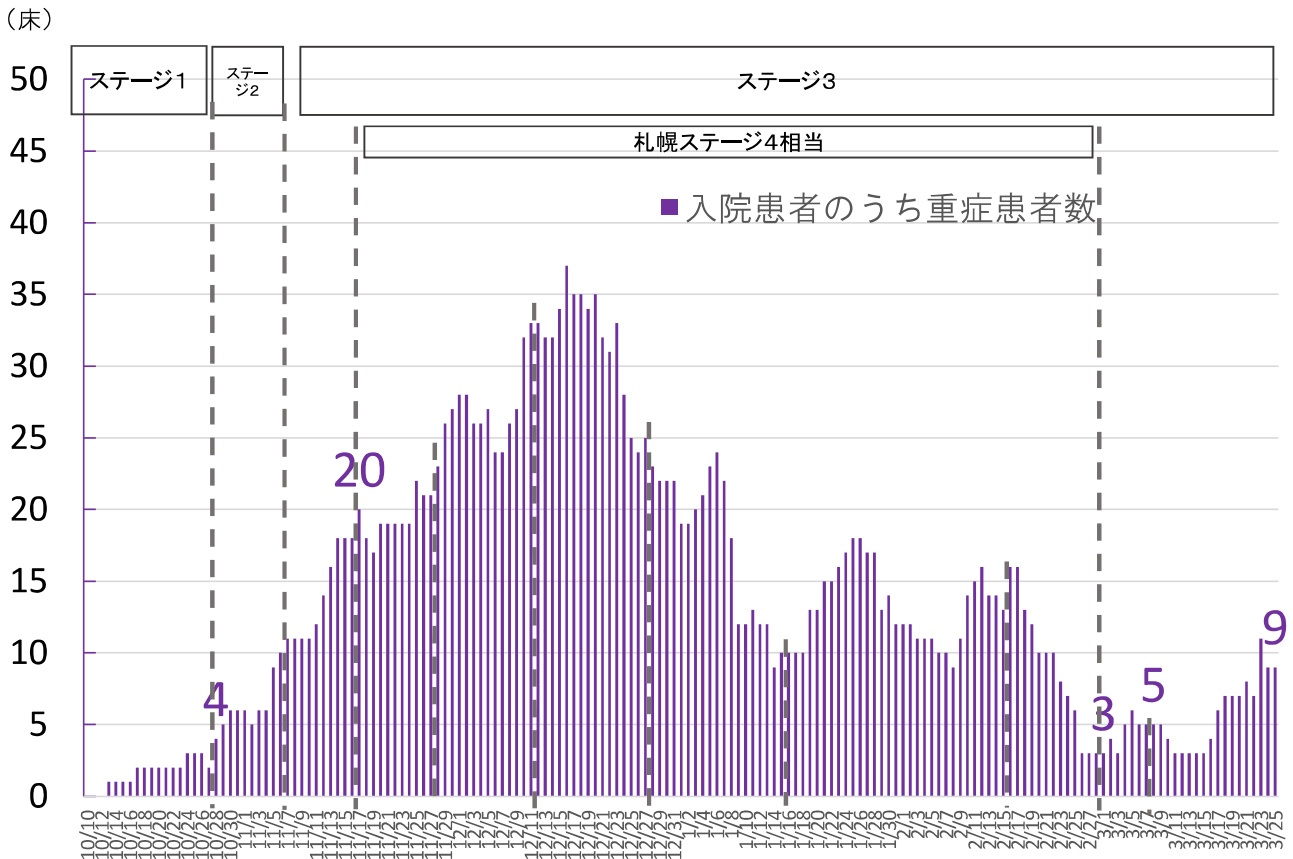
8

医療提供体制等の負荷(病床全体)



9

医療提供体制等の負荷(重症者用病床)



10

集団感染の発生状況

	12月	1月	2月	3月 (3/1~25)
医療施設 福祉施設	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (294人)	11件 (257人)
事業所等	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	7件 (97人)
飲食店等	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	6件 (73人)
学校	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (81人)
合計	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (473人)	29件 (508人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

11

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	2月		3月(3/1~25)	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	10件 (127人)	5件 (167人)	2件 (19人)	9件 (238人)
事業所等	5件 (52人)	5件 (51人)	4件 (66人)	3件 (31人)
飲食店等	2件 (11人)	3件 (32人)	2件 (27人)	4件 (46人)
学校	2件 (27人)	1件 (6人)	2件 (51人)	3件 (30人)
合 計	19件 (217人)	14件 (256人)	10件 (163人)	19件 (345人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルス 変異株への対応状況

資料2

1 スクリーニング検査(道衛研)

期間	新規陽性者数 (道保健所管内)	スクリーニング検査数 (道衛研実施)	うち疑い事例数	スクリーニング検査実施率
2/1- 3/24	1120	564	28	50.4%

2 ゲノム解析の実施(確定判断は国立感染症研究所)

検体数	内訳	摘要
50 (3/25時点)	北海道分 14 札幌市分 35 小樽市分 1	全て英国型 の変異株

札幌市を対象とした
感染拡大防止に向けた施策について
(案)

【令和3年3月 日】

札幌市内における協力要請

考え方

札幌市における感染を徹底して抑え込み、全道への拡大を防ぐため、道の警戒ステージ4相当の強い措置を講じる

期間

令和3年3月27日(土)から4月16日(金)まで

目標

道の警戒ステージ3相当（国のステージⅡ）以下を目指す

特措法第24条第9項に基づく協力要請等の実施

【道民及び道内に滞在している皆様への要請】

- ◆感染リスクを回避できない場合
 - ・札幌市内においては、不要不急の外出を控える
 - ・札幌市との不要不急の往来を控える

〔※札幌市の新規感染者数293人/週以下、病床数110床以下を目安とし、感染状況に応じた期間中の解除も検討する〕

- ◆このほか、引き続き、「感染の再拡大防止に向けて」（令和3年3月8日施行）による感染防止行動の実践を要請する。

「札幌市を対象とした感染拡大防止に向けた施策について（道案）」 等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

- ・要請の内容に異論はない。
- ・期間を3週間としているが、これまでの対応との一貫性を持たせるため、期間中に目標が達成された場合は、早期の終了もあり得ることを示すべき。道民のモチベーションを保つためにも必要と考える。
- ・感染状況に照らし、やむを得ない、必要な対応と思う。
- ・札幌市内での感染拡大の状況を踏まえ、全道への拡大を回避するため、札幌市内を対象として、道の警戒ステージ4相当の強い措置を講じる必要性については理解する。
- ・感染を抑え込むための措置として求める「不要不急の外出自粛」に対して、道民に慣れや疲れが生じていることが懸念されることから、最近の感染事例などを基に特に注意すべき行動を分かり易く伝えることで、負担感の軽減を図りつつ、的確な行動抑制が図られるよう、工夫を凝らすべき。
- ・早めの判断は致し方ない。札幌の病床数からみても妥当な判断だと思う。特に、目標値として、新規感染者数293人/週以下、病床数110床以下とわかりやすい設定になっていることは、札幌市民に協力を求めやすい。このままだと、ワクチン接種に支障が生ずることが予想されることも知らせた方がよい。病院・保健所機能を守ることで感染拡大を防ぐことをアピールすべき。災害時の「自分を守る行動・命を守る行動」の中に、感染防止行動の実践も含めるべき。一人ひとりの行動が、感染拡大を防ぐということをもう一度確認すべき。
- ・道庁の案に同意する。札幌市の対応はやむを得ないと思う。
- ・北海道の案に賛成。今、札幌での感染拡大を抑えることは全道での感染拡大を抑えることになり、有益。道民、札幌市民に、「また自粛か」と思われないように措置の必要性について丁寧な説明をお願いしたい。
- ・道案に賛成。転勤や進学等で移動の多い時期であるため人の移動は避けられないが、対策としては必要な段階と考える。最優先課題はワクチン接種と考えるので、接種スケジュールに影響が出ないよう強い措置が必要。
- ・札幌市を対象とした感染拡大防止対策については、今が正念場なので、感染抑制のため、これまで以上に札幌市民に対し積極的なアピールが必要。
- ・札幌市を対象とした感染拡大防止のための特措法に基づく強い措置を講じることにかかる道の考え方については、異論なし。
- ・今回、道が感染拡大の兆しを迅速にとらえて強い措置をとろうとしていることは、適切であり、感染拡大防止に向けた対応として、道民からも理解され、高く評価されるものであると考え。道内の感染状況についてまとめて記述されている内容は、適切にわかりやすく整理されている。今回の協力要請の内容について、外出制限および往来制限の要請であることに異論はないが、要請期間が年度替わりの時期に当たり、道都札幌市は年度替わりにおける各種道内外間移動機会等のコアであることを考えれば、「感染の再拡大防止に向

けて」(令和3年3月8日施行)による感染防止行動の実践が、いっそう重要になる。外出制限等の要請に当たり、この感染防止行動の実践についても適切に道民、札幌市民の皆様のご理解を得て、実践していただけるよう、合わせて十分なメッセージの発信が必要。今回の要請期間が過ぎれば、間もなくゴールデンウィークとなり、一般的に、医療現場にとっても通常でも厳しい時期になるので、医療現場の負荷が再び著しく高まることのないよう、引き続きお願いする。

2 関係団体の意見

- ・ 集中対策期間が終了して1か月も経たないうちに、再度、「札幌市内の外出自粛や札幌市との往来自粛」が要請されることについては、現下の感染状況を考えれば、やむをえない。一方、「対策疲れ」「コロナ慣れ」などによる道民の感染防止に対する意識の低下を懸念。札幌市と連携の上、今一度、札幌市民をはじめとする道民や事業者が前向きに感染防止対策に取り組めるようなメッセージの発信をお願いしたい。
- ・ 今回の要請期間中であっても、札幌市において「道の警戒ステージ3相当以下」という目標を達成した場合には、要請を解除し、札幌市についても「新しい旅のスタイル」事業を開始していただくようお願いしたい。
- ・ 「変異株」について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、詳らかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。
- ・ これから3月・4月、就職・進学や人事異動等で人が移動する時期を迎える。「年度末・年度始めにあたっての感染防止行動」の徹底について、道民や事業者に改めてメッセージを発信いただきたい。
- ・ 警戒ステージ4相当との判断からの措置であり、解除条件を明確にし、実効性を伴う丁寧な説明、協力要請を行ってほしい。
- ・ 札幌市において、感染の増加傾向が継続している状況から、札幌市内の協力要請はやむを得ないとする。
- ・ 外出・移動の自粛を強く要請することは、「移動自体にリスクがある」と言う誤った認識を定着させることを危惧しており、「移動する行為自体はリスクが低いこと」と「移動先での過ごし方によってはリスクが高まること」とを明確に分けた上で、各々に対策を策定し、的確な情報発信をすべき。この度の道案は、飲食店等に対する自粛要請がない一方で、公共交通に対しては多大な損失をもたらすものであると考えるので、バランスの取れた効果的な対策となるよう、再考を求める。
- ・ 変異株の発生状況からするとやむを得ないと思われるため、特に異論なし。

1) 新入生・転入者向けの普及啓発

- 転入者の方々に
向けた啓発チラシの
配布
- 学生の方々に
向けた啓発チラシの
配布



年度末・年度始めの普及啓発②

2) 体験集の配布

- ・感染者の体験集を作成し、市町村や関係団体等にお知らせ

新型コロナウイルス感染症

体験集

～経験した今、伝えたいこと～

令和3年3月

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部指図書

- 20歳代 男性 軽症 「ライブ中の感染疑い」 発熱・咳の痛み
「年齢に関係なく感染する時は感染する。ただ日々の感染予防によって感染を下げることは出来る」
- 30歳代 女性 無症状 「家族での感染疑い」 無症状
「コロナはただの風邪と軽視しない」
「誰もがかかるかもしれない事をキチンと理解して欲しい」
- 30歳代 女性 軽症 「前々健康診断」 発熱・咳量の増加
「健康的に毎日過ごしていることがどんなにありがたいことなのか、伝えたい」
- 30歳代 男性 無症状 「飲み会での感染疑い」 発熱・喉乾き
「味覚障害、嗅覚異常は現在も継続しています」
- 30歳代 男性 軽症 「職場での感染疑い」 喉の違和感
「かなりの対策をしても感染してしまふ事がわかったので、やるなら徹底的にやること」
- 40歳代 女性 軽症 「家族での感染疑い」 発熱・喉乾き
「陽性者の体験談、療養中の過ごし方をざらりとでもいいので知っておくと良いと思います」
- 40歳代 男性 無症状 「近所の通信」 発熱
「他の陽性者の中には症状が後々まで酷いという事もありましたので、後遺症へのフォローが充実されると良い」
- 40歳代 男性 軽症 「前々健康診断」 発熱
「陽性判定後、1人暮らしのため自己での食糧確保をどうしようかと思っていました」

感染防止対策を徹底した
「新しい旅のスタイル」を構築し、
普及・定着



利用者

- 「黙食・黙浴」の推奨
- マスク着用
- 大声で会話しない
- COCOA等の登録
- 感染対策の同意書を提出
- アンケートの提出

事業者

- 「黙食・黙浴」のポスター等を掲示
- 部屋食や同居者限定テーブルの利用
- 密にならないチェックイン対応
- 誓約書の提出
- 抜き打ち検査の実施

域内旅行に限定

- ① 札幌市
- ② 道央 1（石狩（札幌市を除く）、空知）
- ③ 道央 2（後志、胆振、日高）
- ④ 道南（渡島、檜山）
- ⑤ 道北（上川、留萌、宗谷）
- ⑥ 道東（オホーツク、十勝、釧路、根室）

停止条件について

- **モデル事業参加の宿泊施設において集団感染が発生した場合**



当該施設を停止

- **圏域内の複数の宿泊施設で集団感染が発生した場合**



圏域を停止

停止条件について

- **特定地域における外出や往来の自粛等の要請をする場合**

- **まん延防止重点措置の検討を開始した場合**

開始時期

4月2日(金)～4月30日(金)

(チェックアウト分まで)

○販売開始 4月1日から

○利用開始 4月2日から

・札幌市は当面延期